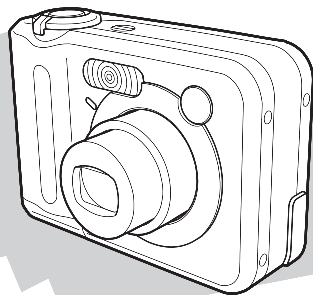
Ⓐ

液晶デジタルカメラ

J Z

QV-R41/QV-R51

取扱説明書
（保証書付き）



ごあいさつ

このたびはカシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。
- 本製品に関する情報は、QVNet（http://QVNet.casio.co.jp/）またはカシオホームページ（http://www.casio.co.jp/）でご覧になることができます。

この取扱説明書はQV-R51をもとに制作されています。QV-R41とQV-R51の相違点は各章をご覧ください。

CASIO

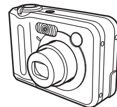
K866FCM1PKC

はじめに

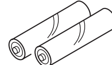
付属品の確認

箱を開けたら、まず以下の付属品が全部そろっているかどうかをご確認ください。もし、これらの付属品が全部そろっていなかった場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

デジタルカメラ本体



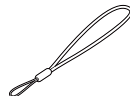
ニッケル水素充電池（HR-3UA）（2本）



充電器（BC-5H）



ストラップ



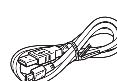
CD-ROM（2枚）



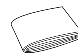
- *カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア*
- *Kodak EasyShareソフトウェア*

※各ソフトウェアの使い方はCD-ROMに付属または収録の取扱説明書をご覧ください。

USBケーブル



取扱説明書



取扱説明書（保証書付き）

目次

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 万一、Photo Loader、Photohands使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■著作権について

個人で楽しむ場合などのほかは、画像／動画フォーマットファイルを権利者に無断で複製することは著作権法や国際条約で固く禁じられています。また、これらのファイルを有償・無償に関わらず権利者に無断でネット上で記載したり、第三者に配付したりすることも著作権法や国際条約で固く禁止されています。万一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

- SDロゴは登録商標です。
- Windows、Internet ExplorerおよびDirectXは米国マイクロソフト社の商標です。
- AppleおよびMacintoshは米国アップルコンピューター社の商標です。
- MultiMediaCard™は、独Infineon Technologies AG社の商標であり、MMCA(MultiMediaCard Association)にライセンスされています。
- AcrobatおよびAcrobat Readerは、Adobe Systems Incorporatedの商標です。
- USBドライバ(マスストレージ)はPhoenix Technologies社のソフトウェアを使用しています。
Compatibility Software Copyright© 1997
Phoenix Technologies Ltd. All Rights Reserved.
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
- Photo Loader、Photohandsはカシオ計算機(株)の著作物であり、上記を除き、これにかかわる著作物およびその他の権利はすべてカシオ計算機(株)に帰属します。

本機の特徴

- 有効画素数
  QV-R41：400万画素(CCD総画素数413万画素)
  QV-R51：500万画素(CCD総画素数525万画素)
- 2.0型TFTカラー液晶モニター搭載
- 12倍シームレスズーム搭載
  光学ズーム3倍／デジタルズーム4倍
- 約9.7MBフラッシュメモリー内蔵
  メモリーカードを使用しなくても撮影ができます。
- 拡張用メモリーカードとしてSDメモリーカードとMMC(マルチメディアカード)に対応
- カメラをUSBケーブルで接続するだけで、簡単にパソコンへ画像データを転送することができます。
- ベストショット機能搭載
  煩わしい設定をカメラが自動的に行うので、簡単に綺麗な写真を撮ることができます。
- 2つの記念撮影支援機能を搭載
  二人きりでも二人揃って記念撮影ができるカップリングショット機能、安心して他人に構図をまかせることができるプリショット機能があります。カップリングショット機能とプリショット機能はベストショット機能の中にあります。
- スライドショー機能搭載
  撮影した内容を自動的に次々とページめくりさせて楽しむことができます。
- 画像ルーレット機能
  カメラ内の画像を液晶モニターでルーレットのように送りながら1枚の画像を選択することができます。
- トリプルセルフタイマーモード搭載
  セルフタイマー撮影を自動的に3回くり返すモードを搭載しました。
- リアルタイムヒストグラム機能を搭載
  ヒストグラム表示を確認しながら露出(光の量や明るさ)の調節ができます。難しい露出条件でも、意図した露出の画像が手軽に撮影できます。
- ワールドタイム機能搭載
  簡単に現地の時間にセットできます。世界162都市(32タイムゾーン)に対応しています。
- アラーム機能搭載
  アラーム機能付きですので、目覚まし時計の代わりにもなります。また、登録した画像をアラームと同時に表示させることもできます。
- アルバム機能搭載
  撮影した画像をレイアウトしたHTMLファイルを作成し、Webブラウザで見たり、印刷することができます。また、自分のホームページ用データとしても利用することができます。

- カレンダー表示が可能
  1ヶ月分のカレンダー表示の日付上に、その日に撮影した最初の画像を表示させることができ、見たい画像を素早く探すことができます。
- DCF(Design rule for Camera File system)対応
  画像データは統一規格のDCF規格に準拠しているため、同規格に準じた他の機器との互換性があります。
- DPOF(Digital Print Order Format)対応
  DPOF規格に対応しているため、同規格に準じたデジタルDPEサービスを簡単に利用することが可能です。
- PRINT Image MatchingⅡ対応
  本製品はPRINT Image MatchingⅡに対応しています。PRINT Image MatchingⅡ対応プリンタでの出力および対応ソフトウエアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。
- USB DIRECT - PRINT対応
  本製品はセイコーエプソン株式会社提唱のUSB DIRECT - PRINTに対応しています。本製品はUSB DIRECT - PRINT対応プリンタに直接接続し、デジタルカメラのモニタ上で写真選択や印刷開始を指示することができます。
- Photo Loader、Photohands付属
  好評な自動取り込み機能を備えたPhoto Loaderを付属。レタッチ機能を備えたPhotohands も付属。更に多彩に画像を活用できます。

使用上のご注意

撮影前のご注意

必ず事前にためし撮りをして、カメラに画像が正常に記録されていることを確認してください。

データエラーのご注意

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。
  - カメラの動作中に電池やメモリーカードを抜いたり、USBケーブルを接続した
  - 電源を切ったときに【動作確認用ランプ】が点滅している状態で電池やメモリーカードを抜いたり、USBケーブルを接続した
  - 通信中にUSBケーブルがはずれたり、カメラからACアダプターがはずれた
  - 消耗した電池を使用し続けた
    ※消耗した電池を使用し続けると、カメラが故障する場合があります。すみやかに電池を充電するか、新しい電池に交換してください。
  - その他の異常操作

このような場合、画面にメッセージが表示される場合があります(143ページ)。画面に対応したご処置をお願いいたします。

使用環境について

- 使用できる温度の範囲は、0℃～40℃です。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光のあたる場所、湿気やホコリの多い場所
  - 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
  - 日中の車内、振動の多い場所

結露について

- 真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く(結露)ことがあります。結露は故障の原因になりますので、ご注意ください。結露を防ぐには、温度差の大きな場所の間を移動する前に、本機をビニール袋で密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に充分慣らしてから取り出して、電池ブタを開けたまま数時間放置してください。

レンズについて

- レンズ面は強くこすったりしないでください。レンズ面に傷が付いたり、故障の原因となります。
- レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、レンズ面には触れないでください。レンズ面の汚れは、ブロアー等でゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

その他の注意

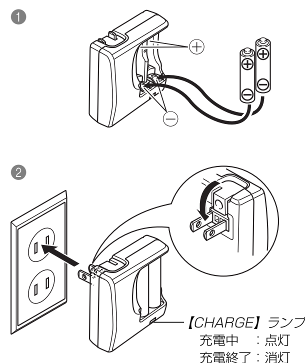
- 使用中、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- 本機が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

早分かりガイド

はじめに電池を充電する

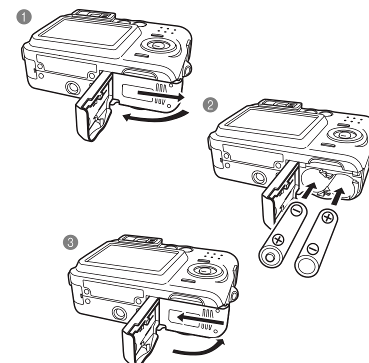
1. **付属のニッケル水素充電池(HR-3UA)を充電します(21ページ)。**

- 約4時間でフル充電されます。



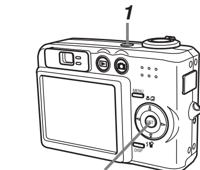
2. **電池を入れます(25ページ)。**

- 充電はできませんが、市販の単3形リチウム電池／アルカリ電池を使用することもできます。



画面メッセージの言語／日時を設定する

重要! • お買い上げ後、初めて撮影する前に設定してください(詳しくは33ページ参照)。



1. 【電源ボタン】を押して、電源を入れます。

2. 【▲】を押して言語(日本語)を選び、【SET】を押して言語を設定します。

3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で自宅都市のエリアを選び、【SET】を押して自宅都市のエリアを設定します。

4. 【▲】【▼】で自宅都市を選び、【SET】を押して自宅都市を設定します。
- 日本で使う場合は“Tokyo”を選んでください。

5. 【▲】【▼】でサマータイムの設定を選び、【SET】を押してサマータイムを設定します。
- 日本で使う場合は“切”を選んでください。

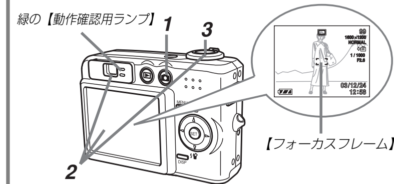
6. 【▲】【▼】で日時の表示スタイルの設定を選び、【SET】を押して表示スタイルを設定します。

7. 日付と時刻を合わせます。

8. 【SET】を押します。
- 設定を終了します。

撮影する

(詳しくは36ページ参照)



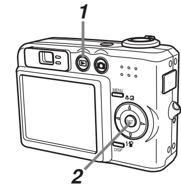
1. 【📷】(REC)を押します。

2. カメラを撮影する被写体に向け、【液晶モニター】または【ファインダー】を覗いて、【シャッター】を半押ししてピントを合わせます。
- ピントが合うと【フォーカスフレーム】が緑色になり、緑の【動作確認用ランプ】が点灯します。

3. カメラを固定し、静かに【シャッター】を押します。

撮影したファイルを見る(再生する)

(詳しくは72ページ参照)

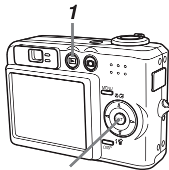


1. 【▶】(PLAY)を押します。

2. 【◀】【▶】を押すと、記録したファイルの戻し／送りができます。

撮影したファイルを消去する

(詳しくは81ページ参照)



1. 【▶】(PLAY)を押します。

2. 【▼】(⚡🗑)を押します。

3. 【◀】【▶】を押して、消去したいファイルを選びます。

4. 【▲】【▼】を押して、“消去”を選びます。
- 消去を中止したいときは、“キャンセル”を選んでください。

5. 【SET】を押します。
- ファイルが消去されます。

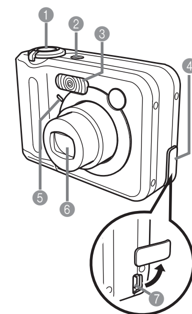
準備する

初めてご使用になる方はここからお読みになり、撮影前の準備を行ってください。

各部の名称

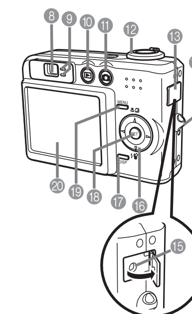
この取扱説明書では、本機の各部の名称を次のように【　】を使って表記します。スイッチやボタンなどの場所がわからなくなった場合は、こちらをご参照ください。

■ 前面部



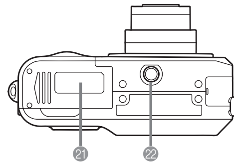
① 【シャッター】
② 【電源ボタン】
③ 【フラッシュ】
④ 【端子カバー】
⑤ 【セルフタイマーランプ】
⑥ 【レンズ】
⑦ 【USB】(USB接続端子)

■後面部

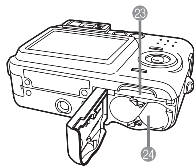


⑧ 【ファインダー】
⑨ 【動作確認用ランプ】
⑩ 【▶】(PLAYモード)
⑪ 【📷】(RECモード)
⑫ 【ズームレバー】
⑬ 【端子カバー】
⑭ 【ストラップリング】
⑮ 【DC IN 3V】
⑯ 【コントロールボタン】
　※本書では、このボタンを【▲】【▼】【◀】【▶】と表記します。
⑰ 【DISP】
⑱ 【SET】
⑲ 【MENU】
⑳ 【液晶モニター】

■底面部



㉑【電池カバー】
㉒【三脚穴】
※ 三脚に取り付けるときに使用します。



㉓【メモリーカード挿入口】
㉔【電池室】

液晶モニターの表示内容

【液晶モニター】には、さまざまな情報が表示されます。

RECモード時

❶ フラッシュモード表示
表示なし（自動発光）
（発光禁止）
（強制発光）
（赤目軽減）
• 自動発光時にフラッシュ発光する場合は、【シャッター】を半押ししたときに が表示されます。

❷ フォーカスモード
なし （オートフォーカス）
（マクロ<接写>）
（無限遠）
MF （マニュアルフォーカス）

❸ ホワイトバランス表示
表示なし（オート）
（太陽光）
（日陰）
（電球）
（蛍光灯）
MWB （マニュアル）

❹ セルフタイマー
なし （1枚撮影）
（セルフタイマー10秒）
（セルフタイマー2秒）
（トリプルセルフタイマー）

❺ 撮影モード
（通常モード）
BS （ベストショットモード）
（ムービーモード）

❻ 測光方式表示
（マルチ測光）
（中央重点測光）
（スポット測光）

❼ 撮影可能枚数

❽ 画像サイズ
• QV-R51
2560×1920 pixels
2560×1712（3:2）pixels
2048×1536 pixels
1600×1200 pixels
1280× 960 pixels
640× 480 pixels
• QV-R41
2304×1712 pixels
2240×1680 pixels
2240×1488（3:2）pixels
1600×1200 pixels
1280× 960 pixels
640× 480 pixels
ムービーモード時：秒数

❾ 画質
FINE（高精細）
NORMAL（標準）
ECONOMY（エコノミー）

❿ メモリー表示
（内蔵メモリー使用中）
（メモリーカード使用中）

⓫ 日付／時刻

⓬ 露出補正表示

⓭ バッテリー残量表示

⓮ フォーカスフレーム
• ピント合わせ完了時：緑色に点灯
• ピント合わせ不可時：赤色に点灯

❶ デジタルズーム表示

❷ シャッター速度
• 絞りとシャッター速度はAE（自動露出）が適正範囲でない場合、【シャッター】を半押ししたときにオレンジ色で表示されます。

❸ 絞り値

❹ ISO感度

❺ ズームバー
左部分が光学ズーム域
右部分がデジタルズーム域

PLAYモード時

❶ ファイル形態
（静止画）
（動画）

❷ プロテクト表示

❸ フォルダ名／ファイル番号

❹ 画像サイズ
• QV-R51
2560×1920 pixels
2560×1712（3:2）pixels
2048×1536 pixels
1600×1200 pixels
1280× 960 pixels
640× 480 pixels
• QV-R41
2304×1712 pixels
2240×1680 pixels
2240×1488（3:2）pixels
1600×1200 pixels
1280× 960 pixels
640× 480 pixels

❺ 画質
FINE（高精細）
NORMAL（標準）
ECONOMY（エコノミー）

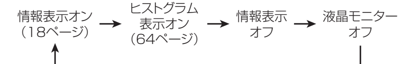
❻ メモリー表示
（内蔵メモリー使用中）
（メモリーカード使用中）

❼ 日付／時刻

❽ バッテリー残量表示

液晶モニターの表示内容を切り替える

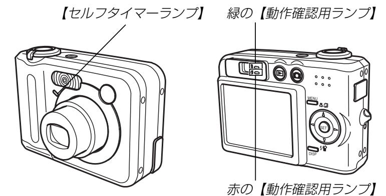
【DISP】を使って、【液晶モニター】に表示される内容を切り替えることができます。



重要！ • 下記のモードでは、「液晶モニターオフ」にはなりません。
PLAYモード、ベストショットモード、ムービーモードの撮影待機中
• ムービー撮影中は、【DISP】を使って【液晶モニター】の表示内容を切り替えることはできません。

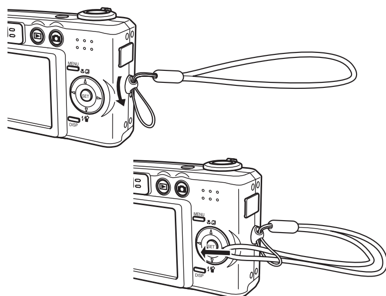
ランプについて

ランプの色や点灯、点滅によってカメラの動作状況を知ることができます。詳しくは「ランプの状態と動作内容」（136ページ）をご覧ください。



ストラップを取り付ける

ストラップは、図のように【ストラップリング】に取り付けます。



重要!
- 本機操作時は落下を防止するため、必ずストラップに指を通した状態で使用してください。
- 付属のストラップは本機専用です。他の用途に使用しないでください。
- ストラップを持って本機を振り回さないでください。

電源について

本機は下記のいずれかの電源が利用できます。

電池
- 単3形ニッケル水素充電池HR-3UA(容量2100mAh／最低保証容量2000mAh)：2本(付属品)
  (電池は、最初充電されておりません。「電池を充電する」に従って充電してください。)
- 単3形ニッケル水素充電池HR-3UB(容量2300mAh／最低保証容量2150mAh)：2本
- 単3形リチウム電池FR6：2本
- 単3形アルカリ電池LR6：2本

※ 上記以外の電池を使用した場合、電池の特性上、動作性能保証ができないことがあります。

> 単3形アルカリ電池(LR6)使用時、5℃以下の温度ではカメラが動作しない場合があります。

家庭用電源
- ACアダプター：AD-C30

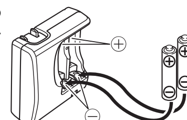
電池を充電する

付属の充電器(BC-5H)で、ニッケル水素充電池(HR-3UAまたはHR-3UB)が充電できます。

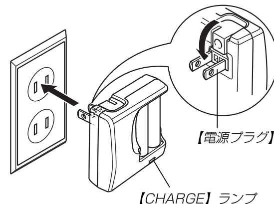
> ニッケル水素充電池(HR-3UAまたはHR-3UB)以外の電池は充電しないでください。乾電池や他の充電式電池を充電すると液漏れ、発熱、破裂することがあります。

■ 充電のしかた

1. **電池と充電器の極性を合わせ、電池を充電器にセットします。**



2. **【電源プラグ】を矢印の方向に引き起し、家庭用コンセントに接続します。**
- 【CHARGE】ランプが点灯します。
- 約4時間で充電が完了します。



3. **充電が完了すると、【CHARGE】ランプが消灯します。**

4. **充電完了後は充電器をコンセントから抜き、電池を取り出します。**

5. **【電源プラグ】を倒し、収納してください。**

重要!
- 充電開始時に電池温度または充電器の温度が約0℃以下、または約40℃以上のときは、【CHARGE】ランプがゆっくりと点滅し、充電待ちの状態になります。充電可能な温度になると、【CHARGE】ランプが点灯に変わり、自動的に充電を開始します。
- 使用した直後の熱くなった電池をすぐに充電すると、充分に充電されない場合があります。いったん電池が冷えるのを待ってから充電してください。
- 電池は使用せずに放置していた場合でも、自己放電します。必ず充電してからご使用ください。
- 本電池はデジタルカメラ用です。その他の機器でもご使用いただけますが、ご使用の機器の取扱説明書で使用できるかどうかを確認してください。
- 本電池の電池寿命は使用状況によって異なりますが、約500回の充放電ができます。
- 海外旅行先でも使用できます(AC100－240V対応)。ただし、国、地域によっては別途市販の変換プラグが必要です。
- 充電中、テレビやラジオに雑音が入ることがあります。そのような場合は、テレビやラジオからできるだけ離れたコンセントをご使用ください。
- 充電器の接点や、電池の端子が汚れていると正常に充電できないことがあります。時々乾いた布で拭いてください。

■ 充電器使用時の注意

- 充電中、充電器は若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、充電器をコンセントから必ずはずしてください。

■ 電池使用時の注意

使用上のご注意
- 充電は必ず専用の充電器(BC-5H)を使用してください。他の充電器は使用できません。
- 電池は、最初は充電されておりません。必ず最初に充電してください。
- 寒い場所では、電池の特性上、充分に充電された電池を使用しても、使用時間が短くなります。
- 充電は10℃～35℃の温度範囲で行ってください。範囲外の温度で充電すると、充電時間が長くなったり、充分な充電ができないことがあります。
- 充電直後でも電池の使用時間が大幅に短くなった場合は、電池の寿命と思われますので、新しいものをお買い求めください。

保存上のご注意
- ニッケル水素充電池は小型で高容量の電池ですが、充電された状態で長期間保存すると特性が劣化することがあります。
  - 使用しないときは必ず充電池をデジタルカメラから取りはずしてください。取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、電池が消耗し、充電に時間がかかったり、こわれたりします。
  - 乾燥した涼しい場所(20℃以下)で保管してください。
  - 長時間、電池を使用しなかったときは、 2～3回充放電を繰り返した後、使用してください。

■ 充電式電池の取扱について

●リサイクルのお願い



Ni-MH

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

> ＜最寄りのリサイクル協力店 へ＞
> 詳細は、社団法人　電池工業会小形二次電池再資源化推進センターのホームページをご参照ください。
> - ホームページ　http://www.JBRC.com/

●使用済み充電式電池の取扱注意事項
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

■ 別売の電池について

本機で使用するニッケル水素充電池は、三洋電機(株)製のニッケル水素充電池(HR-3UAまたはHR-3UB)のご使用をおすすめいたします。他の充電式電池については動作保証いたしかねます。

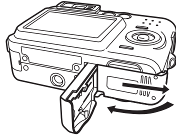
ニッケル水素充電池(2本セット)：HR-3UA-2BP
HR-3UB-2BP

重要!
- 電池は、必ず同じ製品を2本セットでご使用ください。違う種類の電池や、充電状態の異なる電池を組み合わせてご使用になると、電池寿命を短くしたり、カメラの故障の原因となります。

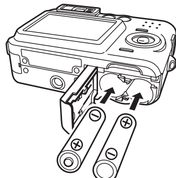
電池を入れる

電池交換の際は、電源を切った状態で行ってください。

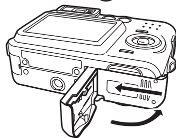
1. 本体底面の【電池カバー】を矢印の方向にスライドさせて開きます。



2. 電池を図のようにセットします。



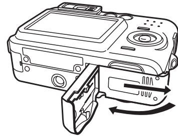
3. 【電池カバー】を矢印の方向へ押しつけながら、スライドして閉めます。



重要! • 電池は、必ず付属のニッケル水素充電池か、単3形の指定電池をご使用ください。

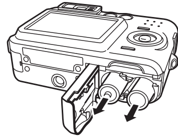
電池を取り出す

1. 本体底面の【電池カバー】を矢印の方向にスライドさせて開きます。



2. カメラを傾けて電池を取り出します。

- 電池を落とさないようにご注意ください。



■バッテリー残量表示

電池が消耗すると【液晶モニター】に表示されているバッテリー残量表示が下記表のように変化します。 の状態は電池残量が少ないことを表しています。 の状態では撮影できません。速やかにすべての電池を充電し直すか、新しい電池に交換してください。

電池残量	多 ←――――→ 少
画面情報表示	→ → →

■ 電池寿命の目安

下記の電池寿命は、温度23℃で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間、または保証枚数ではありません。低温下で使うと、電池寿命が短くなります。

電池寿命 (QV-R41/QV-R51)

	ニッケル水素充電池	単3形アルカリ電池
連続撮影枚数(撮影時間)※1	約900枚(約2時間30分)	約240枚(約40分)
標準撮影枚数(撮影時間)※2	約240枚(約2時間)	約50枚(約25分)
連続再生時間※3	約4時間10分	約2時間10分

- 使用電池
  ニッケル水素充電池HR-3UA：三洋電機(株)製
  単3形アルカリ電池LR6：松下電池工業(株)製
- 電池寿命は電池メーカーによって異なります。
- 測定条件
  ※1 連続撮影
  温度23°C、液晶モニターオン、フラッシュ非点灯、約10秒に1枚撮影
  ※2 標準撮影
  温度23°C、液晶モニターオン、30秒毎にズームのワイド端とテレ端で交互に撮影、フラッシュ発光(2枚に1回)、10回撮影に1度電源を切／入操作
  ※3 連続再生
  温度23°C、約10秒に1枚ページ送り

- フラッシュやズームなどの使用頻度や電源が入った状態の時間により、撮影時間または枚数は大幅に異なる場合があります。
- 各電池の特性の違いからバッテリー残量表示の変化のスピードも各々で異なります。

■電池を長持ちさせるために

- フラッシュを使用しないで撮影するときは、フラッシュの発光方法を(発光禁止)に設定してご使用いただくと、電池寿命が長くなります(42ページ)。
- オートパワーオフ機能やスリープ機能(31ページ)を使用することにより、電源の切り忘れなどのむだな電力消費をおさえることができます。

■電池特性による注意事項(アルカリ電池について)

アルカリ電池の持続時間は、メーカーや保存期間、使用温度、撮影条件により大きく異なります。通常ご使用になる場合、持続時間の長いニッケル水素充電池のご使用をおすすめいたします。

- 5°C以下の温度ではカメラが動作しない場合があります。

■ 電池使用時の注意事項



●電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災、けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
- 極性(⊕と⊖の向き)に注意して正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

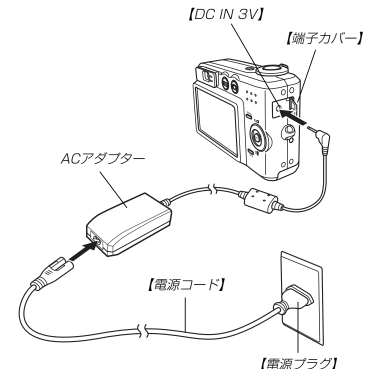
●電池は、分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

●使えなくなった電池は漏液して故障の原因となりますので、すぐに取り出してください。
- 2週間以上使用しないときは、取り出しておいてください。
- 電池が消耗してくると熱を持ちますが故障ではありません。

家庭用電源を使う

家庭用電源から電源を取るには、別売のACアダプター(AD-C30)が必要です。

1. 【電源コード】をACアダプターに接続します。



2. **カメラの【端子カバー】を開き、【DC IN 3V】にACアダプターのプラグを接続します。**

3. **【電源プラグ】をコンセントに接続します。**

参考 • ACアダプターはAC100～240Vの電源に対応していますので、海外への旅行の際もご利用になれます。海外でのご使用では各地域に合った市販の電源コードをお買い求めください。

■ ACアダプター使用時の注意

- ACアダプターを抜き差しする際は、必ず本機の電源を切った状態で行ってください。
- 本機に電池をセットした状態でACアダプターを使う場合でも、電源を入れたままACアダプターの抜き差しをするのはおやめください。電源を入れたままACアダプターの抜き差しを行うと製品保護のために本機の電源は一度切れますが、保護しきれずに故障の原因となります。
- ACアダプターは、長時間ご使用になりますと若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、ACアダプターをコンセントから必ずはずしてください。
- ACアダプターのプラグを差し込むと、電池よりもACアダプターが優先されます。
- パソコンと接続する際は、ACアダプターをお使いください。
- ACアダプターの上に毛布などがかぶらないようにしてください。火災の原因となります。

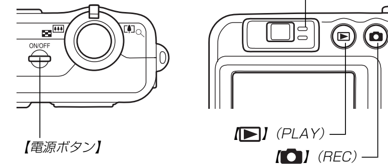
電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

電源を入れる場合は、【電源ボタン】または【📷】(REC)、【▶】(PLAY)を押すと、緑の【動作確認用ランプ】が一時点灯し、電源が入ります。押すボタンによって電源が入った後の状態が異なります。

REC(撮影)モードで電源を入れたいとき
　：【電源ボタン】または【📷】(REC)を押す。

PLAY(再生)モードで電源を入れたいとき
　：【▶】(PLAY)を押す。



参考 • 電源が入っているときに【📷】(REC)を押すとRECモードに、【▶】(PLAY)を押すとPLAYモードに切り替わります。
• RECモードから【▶】(PLAY)を押してPLAYモードに切り替えると、約10秒後にレンズが収納されます。

重要! • オートパワーオフ機能により電源が切れた場合は、再度【電源ボタン】または【📷】(REC)、【▶】(PLAY)を押して電源を入れてください。
• 【電源ボタン】または【📷】(REC)を押して電源を入れると、レンズが出てきます。その際にレンズを押さえたり、ぶつけたりしないようご注意ください。

■ 電源を切る

電源を切る場合は、【電源ボタン】を押すと、電源が切れます。

参考 • 【📷】(REC)や【▶】(PLAY)を押しても電源が入らないようにしたり、【📷】(REC)や【▶】(PLAY)を押して電源を切ることができるように設定することができます。詳しくは「【📷】(REC)／【▶】(PLAY)の動作を設定する」(101ページ)をご覧ください。

電池の消耗を抑えるための機能

電池の消耗を抑えるために、以下の2通りの設定ができます。

スリープ　　　　：RECモード時に一定時間操作をしないと、【液晶モニター】のみ消灯します。ボタン操作をすると【液晶モニター】が再度点灯します。
オートパワーオフ：一定時間操作しないと電源が切れます。

1. **電源を入れます。**

2. **【MENU】を押します。**

3. **【◀】【▶】で"設定"タブを選びます。**

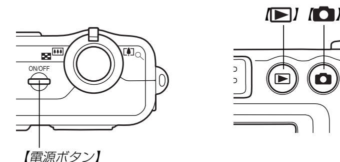
4. **【▲】【▼】で設定したい項目を選び、【▶】を押します。**
スリープの設定："スリープ"
オートパワーオフの設定："オートパワーオフ"
- メニューのたどりかたについては32ページを参照してください。

5. **【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。**
スリープの設定内容："30秒""1分""2分""切"
オートパワーオフの設定内容："2分""5分"
- PLAYモードではスリープは働きません。
- スリープ中にいずれかのボタンを押すと、スリープを解除して、すぐに撮影できる状態になります。
- 以下の状態では、オートパワーオフ、スリープは働きません。
  － 本機の【USB接続端子】を通じて本機を外部のパソコンやプリンタなどと接続しているとき

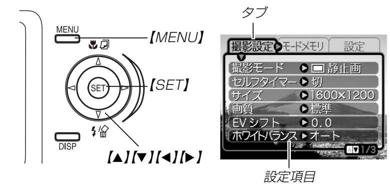
メニュー画面の操作について

本機ではメニュー画面を使用してさまざまな操作を行います。この操作をまず覚えてください。【MENU】を押すと、メニュー画面が表示されます。メニューの内容はREC(撮影)モードとPLAY(再生)モードでは異なります。ここでは例としてRECモードでの操作を説明します。

1. **【電源ボタン】または【📷】(REC)を押します。**
- PLAYモードにして操作を行うときは【▶】(PLAY)を押します。



2. **【MENU】を押します。**



●メニュー画面で使うキーについて

【◀】【▶】	タブを選びます。【▶】は項目の決定にも使います。
【▲】【▼】	設定項目を選びます。
【SET】	選択した項目に決定します。
【MENU】	メニュー画面の操作を中断します。

3. 【◀】【▶】で設定したい項目のあるタブを選びます。

4. 【▲】【▼】で設定したい項目を選び、【▶】を押します。

- 【▶】を押す代わりに【SET】を押しても、次の画面に移ります。



例）設定項目"撮影モード"を選んだ場合

5. 【▲】【▼】で設定内容を選びます。

6. 選択した内容を決定します。

- 【SET】を押すと内容が決定され、メニュー画面から出ます。
- 【◀】を押すと内容が決定され、メニュー画面に戻ります。続けて他の項目を設定することができます。
- 他のタブに移りたいときは、【◀】を押して、【▲】でタブに戻り、【◀】【▶】で他のタブに移ってください。

- メニューの内容については「メニュー一覧表」(134ページ)を参照してください。

表示言語／日時を設定する

お買い上げ後初めて撮影をする前に、下記の設定を行ってください。

- 画面のメッセージの言語設定
- 自宅の都市の設定
- 表示スタイルの設定
- 日時設定(この日時は、印刷情報などに利用されます)

重要!
- 電池やACアダプターで電源が供給されないと、日時がリセットされてしまいます。その場合は、日時設定画面が表示されますので、再度日時を設定してください。
- 電池が消耗した状態で放置すると、約2日で日時がリセットされます。
- 日時がリセットされているときに電源を入れると、毎回、日時設定画面が表示されます。
- 日時を設定しないと、間違った時間データによって記録されてしまいますので、必ず設定してください。

1. 【電源ボタン】または【📷】(REC)、【▶】(PLAY)を押して、電源を入れます。

2. 【▲】【▼】【◀】【▶】で言語を選び、【SET】を押します。

日本語　：日本語
English　：英語
Français　：フランス語
Deutsch　：ドイツ語
Español　：スペイン語
Italiano　：イタリア語
Português：ポルトガル語
中國語　：中国語(繁体)
中国语　：中国語(簡体)
한국어　：韓国語



3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で自分の住んでいる地域を選び、【SET】を押します。



4. 【▲】【▼】で自分の住んでいる都市を選び、【SET】を押します。

- 日本で使う場合は"Tokyo"を選んでください。



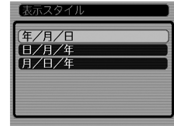
5. 【▲】【▼】でサマータイムの設定を選び、【SET】を押します。

入：サマータイムになります。
切：通常の時刻になります。

- 日本で使う場合は"切"を選んでください。

6. 【▲】【▼】で画面に表示される日付のスタイルを選び、【SET】を押します。

例）2003年12月24日
年／月／日：03/12/24
日／月／年：24/12/03
月／日／年：12/24/03



7. 日付と時刻を合わせます。

【▲】【▼】を押す：
カーソル(選択枠)の部分の数字などを変えます。

【◀】【▶】を押す：
カーソル(選択枠)を移動します。

【DISP】：
12時間表示と24時間表示の切り替えができます。

8. 【SET】を押して、設定を終了します。

撮影する(基本編)

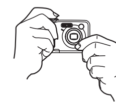
ここでは最も基本的な撮影方法について説明します。

基本的な撮影のしかた

カメラの正しい構えかた

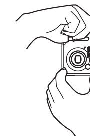
カメラは両手でしっかりと持って、撮影してください。片手で持つと、手ぶれを起こす恐れがあります。

●横に持つ場合



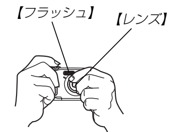
両手でカメラをしっかり持ち、脇をしっかり締めてください。

●縦に持つ場合



縦に持つ場合は、【レンズ】より【フラッシュ】が上にくるようにして、カメラをしっかり持ってください。

重要!
- 指やストラップが、右記の部分にかからないように注意してください。



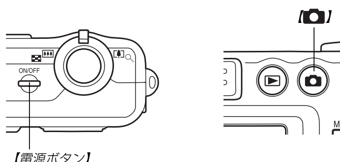
参考
- 【シャッター】を押し切った瞬間にカメラがぶれると、きれいな画像が撮れませんので、正しく構えて、【シャッター】を静かに押し、【シャッター】を押し切った瞬間にカメラが動かないようにしてください。特に暗い場所で撮影するときは、シャッター速度が遅くなるので、注意してください。

撮影する

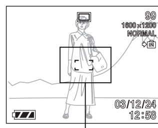
本機では被写体の明るさに応じてカメラがシャッター速度を自動的に調整します。撮影された画像は、順次内蔵メモリーに保存されます。

- 市販のメモリーカード(SDメモリーカードまたはMMC〈マルチメディアカード〉)に保存することもできます(103ページ)。

1. **【電源ボタン】または【 】(REC)を押して、電源を入れます。**



【電源ボタン】



- 【液晶モニター】に画像が表示されます。
- RECモードになり、撮影できる状態になります。
- すでに電源が入っている状態で下記のようにPLAY(再生)モードになっている場合は、【 】を押してREC(撮影)モードに切り替えてください。

  －「ファイルがありません」と表示されている。
  －" "が【液晶モニター】の上部に表示されている。

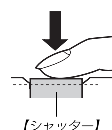
2. **【液晶モニター】に表示されている【フォーカスフレーム】を被写体に合わせます。**

- 撮影できる範囲は、オートフォーカスモードでは約60cm～∞です(48ページ)。

【フォーカスフレーム】

- 【ファインダー】から被写体を見て撮影することもできます(40ページ)。
- 【ファインダー】から被写体を見るときは、【DISP】を押して【液晶モニター】を消すことで、電力の消費を減らすことができます(20ページ)。

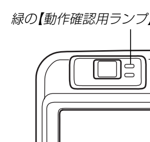
3. **【シャッター】を半押しし、ピントを合わせます。**



【シャッター】

- 【シャッター】を半押しすると、オートフォーカス機能により自動的にピントが合い、シャッター速度と絞り値が表示されます。
- ピントは【フォーカスフレーム】や緑の【動作確認用ランプ】の点灯のしかたで知ることができます。

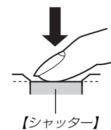
緑の【動作確認用ランプ】



状況	動作確認用ランプ	フォーカスフレーム
ピント合わせ完了	緑点灯	緑点灯
ピント合わせ不可	緑点滅	赤点灯

4. **ピントが合っていることを確認して、【シャッター】を全押しします。**

- サイズ、画質によって保存できる枚数が異なります(45、145ページ)。



【シャッター】

撮影時のご注意

- 【動作確認用ランプ】が緑色に点滅している間に【電池カバー】を開けることは、絶対にお止めください。今撮影した内容が記録されないばかりでなく、撮影済みの内容が破壊されたり、カメラが正常に動作しなくなるおそれがあります。
- メモリーカードに記録中は、メモリーカードを抜かないでください。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、本機は蛍光灯のフリッカー(人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき)を感知してしまい、撮影するタイミングによって、微妙に撮影画像の明るさや色合いが変わる場合があります。
- ISO感度が"オート"の場合(66ページ)被写体の明るさに応じて感度が自動的に変化します。被写体が暗いと画像にノイズがのる場合があります。
- ISO感度が"オート"の場合(66ページ)被写体が暗いときは感度を上げてシャッタースピードを速くなるようにしていますが、フラッシュの発光方法(42ページ)が (発光禁止)のときには手ぶれに注意してください。
- 不要な光がレンズに当たる場合は、手で遮光してから撮影してください。

オートフォーカスのご注意

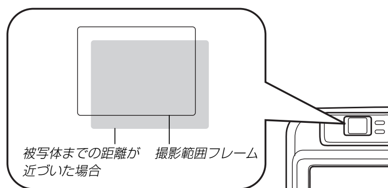
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  －階調のない壁などコントラストが少ない被写体
  －強い逆光のもとにある被写体
  －光沢のある金属など明るく反射している被写体
  －ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  －カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  －暗い場所にある被写体
  －手ぶれをしているとき
  －動きの速い被写体
- 緑の【動作確認用ランプ】が点灯していたり、【フォーカスフレーム】が緑で表示されていてもピントが正しく合わない場合があります。
- ピントが合わない場合は、フォーカスロック(51ページ)やマニュアルフォーカス(50ページ)をご利用ください。

撮影時の画面のご注意

- 撮影時、【液晶モニター】に表示される被写体の映像は、フレーム確認のための簡易画像です。撮影した内容は、選択した画質で記録されており、出力画素数は確保されています。メモリーには精細な画像で記録されています。
- 被写体の明るさにより、撮影時の【液晶モニター】の表示速度が遅くなったり、ノイズが出る場合があります。

ファインダーを使って撮影する

電池の消耗をおさえるために【液晶モニター】をオフ(20ページ)にし、【ファインダー】を使って撮影することができます。



重要!
- 撮影範囲フレームは約1m以上離れた被写体を撮影した場合の範囲を表します。被写体の距離が近い場合、視差の関係で実際に写る範囲が異なります。
- マクロモードやマニュアルフォーカスモードでは、【液晶モニター】をファインダーとして使用してください。【液晶モニター】は視差の問題がないため、記録される画像が正しく表示されます。

ズームを使って撮影する

本機のズームには、光学ズームとデジタルズームの2種類があります。

光学ズームを使う

光学ズーム機能により、レンズの焦点距離を変えて撮影することができます。ズームの倍率は次の通りです。

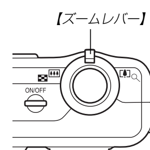
倍率：1～3倍(1～1.2倍：マクロ<接写>時)

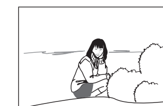
1. **RECモードにします。**

2. **【ズームレバー】をスライドさせて、ズームの倍率を変えます。**

(広角)：広角になります。
(望遠)：望遠になります。

【ズームレバー】





広角





望遠

3. 撮影します。

参考 • 光学ズームの倍率により、レンズの絞りの値も変わります。
• 望遠で撮影するときは、手ぶれ防止のため三脚の使用をおすすめします。

デジタルズームを使う

デジタルズーム機能により、光学ズームが最も望遠になった(3倍)状態から、さらに画面の中央を拡大して撮影することができます。デジタルズームを使ったときのズームの倍率は次の通りです。

倍率：3〜12倍(光学ズーム併用)

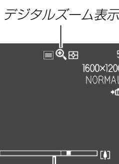
1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. 【◀】【▶】で"撮影設定"タブを選びます。

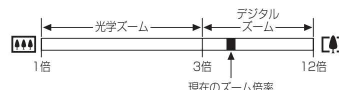
3. 【▲】【▼】で"デジタルズーム"を選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で"入"を選び、【SET】を押します。
• "切"を選ぶと、デジタルズームは働きません。

5. 【ズームレバー】を【♠】(望遠)側にスライドさせて、ズームの倍率を変えます。



• 【ズームレバー】を操作して光学ズームが最も望遠になると、いったんズーム動作は停止します。その後、【ズームレバー】を【♠】(望遠)側にスライドさせ続けると、デジタルズームに切り替わります。
• 【液晶モニター】にズームバーが表示されます。この表示で現在のおおよその倍率が分かります。



6. 撮影します。

重要! • 【液晶モニター】をオフに設定している場合は、デジタルズームを使って撮影することはできません(20ページ)。
• デジタルズームを使って撮影すると、画像が粗くなります。

フラッシュを使って撮影する

撮影条件に合わせてフラッシュの発光方法を切り替えることができます。

1. RECモードにします。

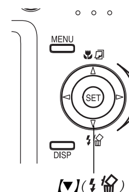
2. 【▼】(⚡)を押して、フラッシュの発光方法を選びます。
• 【▼】を押すたびに【液晶モニター】に次の順でフラッシュの発光方法が表示され、切り替わります。

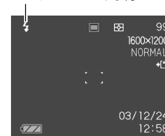
表示なし(自動発光)：
露出(光の量や明るさ)に合わせて自動的に発光します。

(発光禁止)：
露出に関係なく発光しません。

(強制発光)：
露出に関係なく強制的に発光します。

(赤目軽減)：
フラッシュ撮影時に人の目が赤く写ることを軽減します。露出に合わせて自動的に発光します。





3. 撮影します。

重要! • フラッシュ撮影時、フラッシュは数回発光します。最初にプリ発光(露出情報を得るための予備発光)し、最後にメイン発光(フラッシュ撮影するための発光)することにより、最適な発光量でフラッシュ撮影が行われます。メイン発光が終わるまで、カメラは動かさないでください。
• 赤の【動作確認用ランプ】が点滅中に【シャッター】を押しても、撮影できない場合があります。

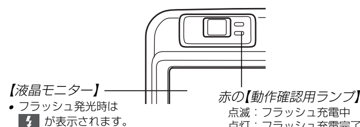
■赤目軽減機能について

夜や暗い室内などで人物をフラッシュ撮影したとき、目が赤く写ることがあります。これは、フラッシュ光が目の網膜に反射するために起こる現象です。赤目軽減機能を使うと、フラッシュ撮影する前に赤目用プリ発光(写す人の瞳孔を小さくするためにフラッシュが発光)することにより、人の目が赤く写ることを軽減します。

重要! • 赤目軽減機能により撮影する場合は、下記の点に注意してください。
– 写される人がフラッシュを注視していないと効果がありません。撮影する前にフラッシュを見るように声をかけておいてください。
– 被写体までの距離が遠いと、効果が現れにくい場合があります。

フラッシュの状態について

フラッシュの状態については、【シャッター】を半押ししたときに、【液晶モニター】や赤の【動作確認用ランプ】で確認できます。



フラッシュの光量を変える

フラッシュの光量を変えることができます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. 【◀】【▶】で"撮影設定"タブを選びます。

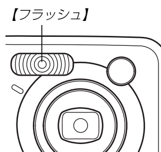
3. 【▲】【▼】で"フラッシュ光量"を選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
強　：強く光ります。
標準：標準です。
弱　：弱く光ります。

• 被写体が遠かったり、近すぎたりする場合は、光量が変わらない場合があります。

フラッシュ使用時のご注意

【フラッシュ】が指で隠れないようにしてください。隠れてしまうとフラッシュ本来の効果が得られなくなります。



• フラッシュ撮影時の被写体までの距離が、遠かったり、近かったりする場合は適切な効果が得られません。
• フラッシュの充電時間は、そのときの使用条件(電池の状態や温度等)により異なります。
数秒〜10秒程度(フル充電の場合)
• ムービーモードの場合は、フラッシュは発光しません。このとき(発光禁止)が表示されます。
• 電池が消耗するとフラッシュの充電ができなくなることがあります。このとき(発光禁止)が点灯し、フラッシュが正常に発光せずに適正な露出が得られないことを示します。速やかに電池を充電してください。
• (赤目軽減)では露出に合わせて自動的に発光するため、明るい場所ではフラッシュは発光しません。
• フラッシュを使用した場合は、外光や蛍光灯など他の光源があると色味が変わることがあります。
• 広角やマクロ(接写)でフラッシュ撮影すると、フラッシュの光がレンズ部にさえぎられて、画像に影が映し込まれることがあります(40、49ページ)。特にマクロ(接写)でフラッシュ撮影した場合は目立ちやすくなりますので、ご注意ください。

セルフタイマーを使って撮影する

【シャッター】を押してから約10秒または約2秒後に撮影することができます。また、3枚連続でセルフタイマー撮影する(トリプルセルフタイマー)こともできます。

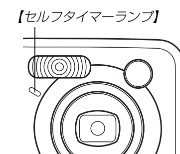
1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. 【◀】【▶】で"撮影設定"タブを選びます。

3. 【▲】【▼】で"セルフタイマー"を選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】でセルフタイマーの時間を選び、【SET】を押します。
10秒：10秒後に撮影されます。
2秒　：2秒後に撮影されます。
×3　：10秒後に1枚、その後撮影準備完了の1秒後に1枚、さらに撮影準備完了の1秒後に1枚と、合計3枚撮影されます(トリプルセルフタイマー)。
切　：セルフタイマーは使用できません。

5. 撮影します。



• 【セルフタイマーランプ】が点滅し、約10秒、または2秒後に撮影されます。
• カウントダウン中に【シャッター】を押すと、セルフタイマーを解除することができます。

参考 • シャッター速度が遅いときにセルフタイマーの2秒の設定を使用すると手ぶれ防止になります。
• トリプルセルフタイマーでは、次の撮影準備が終わると"1sec"と表示され、約1秒後に撮影されます。撮影準備完了までの時間は、画像の"サイズ"や"画質"と使用するメモリー、またフラッシュの充電の有無によって異なります。